

2025 年 6 月 26 日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

**ドリーム・アーツ、大企業における AI 活用の新たな独自コンセプト「DAPA」発表
～業務プロセスを変革する実践・実務・実用的な AI 活用の新アプローチ～**

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび日本の大企業における AI 活用の新たな独自構想「**DAPA® (DreamArts Practical AI)：ダーパ**」を発表します。

本構想は、弊社プロダクト「**SmartDB® (スマートデービー)**」および「**Shop らん® (ショッピング)**」、「**InsuiteX® (インスイートエックス)**」と、その導入・活用コンサルティング、プロジェクト支援などの付帯サービスにわたる設計・実装の思想を包括するものです。単なる製品コンセプトにとどまらず、大企業の業務プロセス改革に直結する AI 活用の新たな考え方と方向性を示しています。

■業務プロセスにこそ AI を：AI エージェントへの過度な期待に“？”

近年 AI エージェント技術への期待が高まりを見せる一方で、ドリーム・アーツはその限界を明確に見定め、冷静かつ現実的な観点からの AI 活用を構想してきました。特に、大企業における実務・業務プロセスの現場では、AI による完全な自律判断よりも、「人間と AI の協働」による支援設計が重要です。

例えば、社内稟議・プロジェクト調整・部門横断的な合意形成といった複雑で暗黙知の多い業務領域においては、AI エージェントの導入がすぐには信頼を持つ形で機能しないのが実情です。

■DAPA 構想とは：実務現場で成果を出すための実装指針

DAPA® (DreamArts Practical AI) は、「何を自動化し、何を支援するか」を明確に区別したうえで、AI の得意領域を最大限に活かすことを目的とした、実務実装志向の AI 活用構想です。

AI による業務の自動化も当然のように含みつつ、単なる自動化を超えた「業務支援としての AI」に主眼を置いており、以下の実装ポイントを基軸としています。

【DAPA®構想における設計の基本ポイント】

- 業務プロセスエンジンへの AI 組み込み
- 業務データベースとのリアルタイム連携
- プロンプトのデータベース化と“市民開発者^(※1)”による継続的育成
- 複数 AI エンジンの選択性と柔軟な切り替え性
- アクセス権限管理との統合設計
- 出力の信頼性を高めるフィルタリング・マスキング機構

※1 “市民開発者”とは、大企業組織の中で IT 部門のスタッフや専門エンジニアではない一般社員・業務部門スタッフを指し、“市民”自身による AI の活用と育成を促進することが DAPA 構想の核にはあります。

■業務プロセス全体へ：組織の意思決定とパフォーマンスを加速

DAPA®構想は、個別業務の効率化にとどまらず、以下のような組織全体への波及効果をもたらします。

- 全ての大企業の喫緊の経営課題である「DX の内製化」を加速
- 高度な専門性を要する定型・非定型業務における AI 支援により、ベテラン人材の知見を補完・拡張
- 部門横断的な業務連携、意思決定プロセスの高速化
- 組織の「行動力」や「実行スピード」のボトルネックを解消
- 非 IT 専門家である“市民開発者”自身が業務の高度化を自走できる環境の創出

これにより、AI を用いて「組織知の増幅」「行動速度の向上」「戦略意思決定のブースト」という大企業特有の課題解決に寄与します。

■「AI の民主化」が導く「デジタルの民主化」

ドリーム・アーツは、これまで「SmartDB®」や「Shop らん®」を通じて「市民開発者による内製化と業務革新」を支援してきました。DAPA®構想はその延長線上に位置づけられ、AI の民主化を通じて「デジタルの民主化^(※2)」をさらに加速させます。

そして本日、DAPA®構想の第一弾として、SmartDB®への AI 機能実装に関するプレスリリースを発表しました。

▼ドリーム・アーツ、SmartDB へ AI 機能を実装

DAPA 構想第一弾、業務プロセスに AI 融合で組織全体のパフォーマンス向上

<https://www.dreamarts.co.jp/news/press-release/pr250626-2/>

※2 現場部門（非 IT 部門）が自らデジタルを活用し、全社のデジタル化を加速させること

<https://www.dreamarts.co.jp/democratization/>

■日本航空株式会社 執行役員 デジタルテクノロジー本部長

JAL デジタル株式会社社長 鈴木 啓介 氏からのコメント

DAPA®構想は、業務プロセスそのものに AI を組み込むことで、組織全体をエンパワーできる点に大きな魅力を感じています。個人単位で支援を行う ChatGPT や Copilot などの生成 AI に加え、組織全体の変革を促す DAPA®ベースの製品・サービスによって、AI 活用の幅はさらに広がっていくでしょう。多様な業務の中に AI が自然に入り込み、現場の誰もが意識することなく支援を受けられるという DAPA®のコンセプトは、まさに“現場起点のデジタル変革”を力強く推進するものと大いに期待しています。

■投資家・株主の皆さんへ

DAPA®構想は、単なる製品コンセプトではなく、当社の SaaS 事業全体にわたる成長戦略の中核を担います。

SmartDB®における AI 機能群の強化は、既存顧客である大企業への深耕とアップセル機会の創出を促進し、同時に新規顧客開拓における差別化要因として機能します。さらに、導入・活用支援と連動する高付加価値サービスの拡充により、ARR（年間経常収益）の拡大と LTV（顧客生涯価値）の最大化を目指します。

また、DAPA®構想に基づいた実務的 AI 活用支援の市場的独自性は、SaaS 業界における当社のプレゼンスを一層強固なものにし、中長期的な企業価値向上につながるものと確信しています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。



SmartDB®（スマートデービー）について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※3) の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心にあらゆる業種

業態のユーザーが利用中です。 サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※3 テクノ・システム・リサーチ「2024 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**」、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shop らん®**」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®**」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 金井・佐藤・土谷

TEL：03-5475-2501 / 080-7023-7602 E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©DreamArts Corporation.